

【交流活性化委員会】

委員長 畑 善章

所 信

昨年、(社)丹波青年会議所は創立40周年を迎えました。これまでに先輩諸兄が流してこられた汗と涙に感謝し、その想いの継承をあらためて強く決意した1年となりました。本年度、交流活性化委員会の委員長として活動させていただけることに感謝し、先輩方に負けない想いを持って汗と涙を流していきたいと思えます。

私が考えるJC活動の最大の魅力は、様々な職種や立場のメンバーが自らの資質を高め合いながら、「明るい豊かな社会」の創造という大きな目標に向かい共に歩むところにあります。その中で本年度、交流活性化委員会が担う役割は、(社)丹波青年会議所として最高のパフォーマンスを発揮するための土壌作りであると考えます。強い向上心と責任感、そして実行力を兼ね備えたメンバー同士が仲間として、また時にはライバルとして切磋琢磨していくからこそ、そこには絆が生まれます。メンバー数の少ない今だからこそ、これまで以上にメンバー同士の絆を深め、LOMとしての結束を強化する必要があります。交流活性化委員会では自らが率先して行動し、1年を通じてメンバーのモチベーション向上を図るとともにメンバーの更なる絆の強化を図ることで、JC活動の根本を支えていきたいと考えます。

また、日ごろからJC活動にご理解、ご協力いただいておりますOBの皆様、地域の皆様、そして家族との「つながり」を大切にするためにも、交流活性化委員会ではメンバーのJC活動に対する熱い想いと共に、精一杯の感謝の気持ちを表現できる場を提供していきます。我々を更に知っていただきながら、様々な情報を交換し、相互理解を図る中でこれまでの「つながり」を更に強固なものへと発展させていく場にしたいと考えます。

(社)丹波青年会議所が50年目へ向けての新たなスタートとなる本年、交流活性化委員会ではメンバー同士の絆を深めることで組織の活性化を、そして対外的なつながりを強化することで地域活性化の一助となることを目指します。

基本方針

- 一、感謝の気持ちを持って行動します
- 一、メンバー同士の絆の強化を図ります
- 一、対外的なつながりの強化を図ります

事業計画

- 1. 1月新年例会
- 2. 12月納会例会
- 3. OB会員との交流関係
- 4. 各地LOMナイトの設営
- 5. アンコールJC
- 6. 会員家族交流設営
- 7. 会員拡大への絶対推進
- 8. 復興支援活動への協力
- 9. 一般社団法人申請及び準備・協力
- 10. 行政や各諸団体との連携・協力・交流
- 11. 各委員会との連携及び支援
- 12. 理事長諮問に関する事項